

株主のみなさまへ

第42期第 2 四半期事業報告書

自 平成 26 年 1 月 1 日

至 平成 26 年 6 月 30 日



PRESEZ

CAD CENTER

microglobe



SEIO
PRINTING CO., LTD.

PICO

kyocolo



DTP& crossmedia support

We support DTP&crossmedia totally
and supply various and delicate service
in spite of analog or digital media.

Lithmatic
DTP & CROSS MEDIA SUPPORT
東京リスマチック株式会社
<http://www.lithmatic.co.jp/>

ごあいさつ	2
業績報告	3
(1) 業績等の推移(連結)	3
(2) 業績等の推移(個別)	3
(3) 四半期連結貸借対照表	4
(4) 四半期連結損益計算書	5
(5) 四半期連結包括利益計算書	5
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	5
(7) 四半期単体貸借対照表	6
(8) 四半期単体損益計算書	6
主要な店舗一覧	7
会社概要	8
環境への取り組み	10
TOPICS	12



株主のみなさまへ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第42期（平成26年1月1日から平成26年12月31日）第2四半期連結累計期間の事業の概要につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の定着、政府の経済対策、日銀の金融緩和と政策などを背景に個人消費や企業収益の持ち直しが見られたものの、消費増税前の駆け込み需要の反動により、個人消費や住宅投資を中心に反動減が一部の企業において顕在化しております。足元では労働需給が引き締まるなか、企業マインド、消費マインドは徐々に持ち直しておりますが、その回復ペースは緩やかなものになっております。

当社企業グループの属するクリエイティブサービス業界におきましても、消費税増税前の駆け込み需要が見られた一方で、平成26年4月以降は、駆け込み需要の反動の影響による需要減少が見られましたが、限定的であると見られております。

このような状況のもと、当社企業グループは多様化するクリエイティブ需要に対して、オンデマンド印刷、サインディスプレイ、付加価値印刷、オフセット印刷、3DCG・映像制作、3D立体造形出力サービスなど、広範・豊富な商品ラインナップとワンストップ製造、各種付帯サービスを拡充し、対応に努めております。加えて、舟渡新工場を中心に大規模な工場の再編を進め、生産効率の向上、物流の効率化、在庫削減を目的とした積極投資を行っております。

また、株式会社ソバルが第1四半期連結会計期間より連結業績に加わっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高110億58百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益2億11百万円（前年同期比42.6%減）、経常利益2億7百万円（前年同期比48.7%減）、四半期純利益10億2百万円（前年同期比237.5%増）となりました。

営業利益及び経常利益の対前年同期比の減少の主な内容は、工場再編に係わる移設費用等及び新規設備投資による減価償却費の増加によるものであり、四半期純利益の対前年同期比の増加の主な内容は、不動産売却に伴う特別利益及び税効果によるものであります。

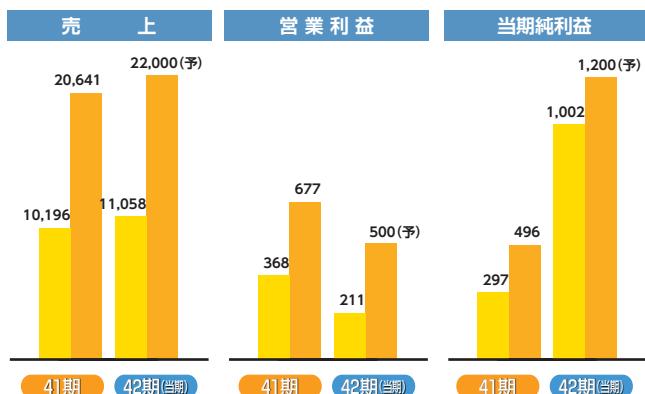
今後とも株主の皆様のご期待に応えるべく努力してまいります。皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年9月

代表取締役社長 鈴木 隆一

通期の連結業績予想

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 （単位：百万円）



(1) 業績等の推移（連結）

区 分	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期	第 42 期 (第 2 四半期)
決 算 年 月	平成 22 年 12 月	平成 23 年 12 月	平成 24 年 12 月	平成 25 年 12 月	平成 26 年 12 月
売 上 高 (千円)	16,230,176	17,001,921	19,946,961	20,641,840	11,058,279
経 常 利 益 (千円)	386,630	390,926	739,789	762,899	207,683
当期純利益 (千円)	172,586	124,355	839,772	496,749	1,002,988
純 資 産 (千円)	7,821,610	7,709,687	8,795,746	9,284,739	10,042,428
総 資 産 (千円)	17,018,977	17,414,293	19,729,603	23,616,140	21,911,485
自己資本比率 (%)	45.9	44.3	44.6	39.1	45.6
1 株当たり純資産 (円)	782.54	771.66	791.07	817.04	897.28
従 業 員 数 (人)	990	1,055	1,173	1,229	1,240

(2) 業績等の推移（個別）

区 分	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期	第 42 期 (第 2 四半期)
決 算 年 月	平成 22 年 12 月	平成 23 年 12 月	平成 24 年 12 月	平成 25 年 12 月	平成 26 年 12 月
売 上 高 (千円)	13,291,215	13,653,163	15,669,757	17,659,660	8,808,451
経 常 利 益 (千円)	339,997	318,271	530,481	462,451	64,993
当期純利益(損失△) (千円)	266,142	△ 16,647	10,396	274,767	31,708
資 本 金 (千円)	1,279,600	1,279,600	1,279,600	1,279,600	1,279,600
発行済株式総数 (株)	9,990,000	9,990,000	12,106,800	12,106,800	12,106,800
純 資 産 (千円)	7,813,393	7,564,183	7,806,888	7,991,054	7,777,179
総 資 産 (千円)	16,683,985	17,234,810	19,348,186	22,411,590	22,808,143
自己資本比率 (%)	46.8	43.9	40.3	35.7	34.1
1 株当たり純資産 (円)	782.13	757.18	702.20	707.29	698.75
従 業 員 数 (人)	804	803	905	907	918

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 期 平成 25 年 12 月 31 日現在	当第 2 四半期 平成 26 年 6 月 30 日現在
(資産の部)		
流 動 資 産	8,671,242	7,586,912
現金及び預金	3,482,065	2,598,257
受取手形及び売掛金	4,377,345	4,110,133
その他	811,831	878,520
固 定 資 産	14,944,898	14,324,573
有形固定資産	11,437,534	11,160,751
建物及び構築物	1,192,918	3,094,204
機械装置及び運搬具	1,369,337	2,525,053
土地	6,519,173	5,369,173
建設仮勘定	2,223,082	22,400
その他	133,021	149,919
無形固定資産	1,581,890	1,371,759
のれん	1,281,436	1,162,202
その他	300,454	209,557
投資その他の資産	1,925,473	1,792,061
投資有価証券	856,515	877,120
その他	1,068,958	914,940
資 産 合 計	23,616,140	21,911,485
(負債の部)		
流 動 負 債	9,108,521	7,202,780
支払手形及び買掛金	854,869	777,948
短期借入金	5,000,000	3,800,000
1 年内返済予定の長期借入金	1,415,000	566,000
その他	1,838,652	2,058,832
固 定 負 債	5,222,878	4,666,277
長期借入金	4,112,650	3,472,510
その他	1,110,228	1,193,767
負 債 合 計	14,331,400	11,869,057
(純資産の部)		
株 主 資 本	9,109,868	9,850,583
資本金	1,279,600	1,279,600
資本剰余金	2,283,253	2,302,866
利益剰余金	5,880,171	6,747,396
自己株式	△ 333,157	△ 479,279
その他の包括利益累計額	121,232	136,295
その他有価証券評価差額金	104,760	123,781
為替換算調整勘定	16,471	12,513
少数株主持分	53,638	55,549
純資産合計	9,284,739	10,042,428
負債・純資産合計	23,616,140	21,911,485

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成25年 1月 1日から 平成25年 6月30日まで	平成26年 1月 1日から 平成26年 6月30日まで
売上高	10,196,523	11,058,279
売上原価	7,282,127	8,095,610
売上総利益	2,914,395	2,962,668
販売費及び一般管理費	2,545,419	2,751,040
営業利益	368,976	211,628
営業外収益	98,550	62,879
営業外費用	62,678	66,824
経常利益	404,847	207,683
特別利益	98,387	771,125
特別損失	49,726	56,606
税金等調整前四半期純利益	453,508	922,202
少数株主損益調整前四半期純利益	297,322	1,004,894
四半期純利益	297,219	1,002,988

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(5) 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成25年 1月 1日から 平成25年 6月30日まで	平成26年 1月 1日から 平成26年 6月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	297,322	1,004,894
その他有価証券評価差額金	52,925	19,025
持分法適用会社に対する持分相当額	10,113	△ 3,957
その他の包括利益合計	63,038	15,067
四半期包括利益	360,361	1,019,962

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成25年 1月 1日から 平成25年 6月30日まで	平成26年 1月 1日から 平成26年 6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	836,465	306,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 554,596	1,756,999
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,600,310	△ 2,952,087
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,882,178	△ 888,184
現金及び現金同等物の期首残高	1,591,077	3,481,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,473,256	2,592,993

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(7) 四半期単体貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 期 平成 25 年 12 月 31 日現在	当第 2 四半期 平成 26 年 6 月 30 日現在
(資産の部)		
流動資産	5,407,664	4,966,978
固定資産	17,003,926	17,841,164
有形固定資産	9,351,708	10,235,857
無形固定資産	250,082	186,399
投資その他の資産	7,402,135	7,418,908
資産合計	22,411,590	22,808,143
(負債の部)		
流動負債	9,859,617	10,585,872
固定負債	4,560,918	4,445,091
負債合計	14,420,535	15,030,964
(純資産の部)		
株主資本	7,907,496	7,676,931
資本金	1,279,600	1,279,600
資本剰余金	2,283,253	2,302,866
利益剰余金	4,677,800	4,573,744
自己株式	△ 333,157	△ 479,279
評価・換算差額等	83,558	100,247
その他有価証券評価差額金	83,558	100,247
純資産合計	7,991,054	7,777,179
負債・純資産合計	22,411,590	22,808,143

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(8) 四半期単体損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第 2 四半期 平成 25 年 1 月 1 日から 平成 25 年 6 月 30 日まで	当第 2 四半期 平成 26 年 1 月 1 日から 平成 26 年 6 月 30 日まで
売上高	8,616,768	8,808,451
売上原価	6,756,111	7,055,984
売上総利益	1,860,656	1,752,467
販売費及び一般管理費	1,710,101	1,732,943
営業利益	150,555	19,523
営業外収益	139,826	124,612
営業外費用	82,391	79,142
経常利益	207,990	64,993
特別利益	80,465	48,885
特別損失	49,726	29,172
税金等調整前四半期純利益	238,730	84,706
四半期純利益	134,733	31,708

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

bureau address index

立体造形工房	〒 105-0014 港区芝 2-1-28 成旺ビル 6F TEL.03-3454-7741 FAX.03-3454-7740
SDS 芝公園	〒 105-0014 港区芝 2-1-28 成旺ビル BF/3F TEL.03-3454-2941 FAX.03-3454-2940
九 段	〒 101-0051 千代田区神田神保町3-5 住友不動産九段下ビル TEL.03-3265-4651 FAX.03-3265-4650
水 道 橋	〒 101-0061 千代田区三崎町 2-4-1 TUG-I ビル TEL.03-3238-6791 FAX.03-3238-6793
内 神 田	〒 101-0047 千代田区内神田2-14-6 神田アネックスビル TEL.03-3256-6131 FAX.03-3256-6130
銀 座	〒 104-0061 中央区銀座 1-10-6 銀座ファーストビル TEL.03-3567-4701 FAX.03-3567-4700
入船八丁堀	〒 104-0043 中央区湊 2-2-5 ヤハギ湊ビル TEL.03-5543-6501 FAX.03-5543-6500
青山表参道	〒 107-0061 港区北青山 3-5-12 青山クリスタルビル 2F TEL.03-3746-5901 FAX.03-3746-5900
芝 公 園	〒 105-0014 港区芝 2-1-28 成旺ビル 1F TEL.03-3454-1791 FAX.03-3454-1790
新 宿	〒 160-0022 新宿区新宿 3-1-24 京王新宿三丁目ビル TEL.03-5269-0641 FAX.03-5269-0642
早 稲 田	〒 162-0041 新宿区早稲田鶴巻町 544 中川ビル TEL.03-3269-3861 FAX.03-3269-3070
恵 比 寿	〒 150-0013 渋谷区恵比寿4-3-8 KDX 恵比寿ビル TEL.03-3447-2791 FAX.03-3447-2790
日 暮 里	〒 116-0014 荒川区東日暮里 6-41-8 TEL.03-3891-5201 FAX.03-3891-5202

- (1) 商 号 東京リスマチック株式会社
- (2) 英 文 商 号 TOKYO Lithmatic Corporation
- (3) 設 立 昭和 47 年 11 月
- (4) 代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 隆一
- (5) 株式の状況 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
1. 資本の額 1,279,600 千円
 2. 発行可能株式数 34,960,000 株
 3. 発行済株式総数 12,106,800 株
 4. 株主数 3,090 名
- (6) 本社所在地 東京都荒川区東日暮里 6 丁目 41 番 8 号
- (7) 従 業 員 数 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
1,240 名 (臨時雇用者は含まれておりません。)
- (8) 連結子会社 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
- サンエーカガク印刷株式会社
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 100%
主な事業内容 付加価値印刷、シールラベル印刷
- 株式会社プレシーズ
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 100%
主な事業内容 コーポレートコミュニケーションツールの
企画・制作
- 株式会社キャドセンター
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 99.95%
主な事業内容 3DCG、デジタルコンテンツ制作
- 株式会社大熊整美堂
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 100%
主な事業内容 出版印刷
- 成旺印刷株式会社
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 100%
主な事業内容 エンターテイメント関連印刷
- プリンティングイン株式会社
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 100%
主な事業内容 同人誌・美術印刷
- 株式会社キョーコロ
資 本 金 8,000 万円
議決権比率 100%
主な事業内容 アルバム制作

株式会社ポパル

資本金 5,000 万円

議決権比率 87.64%

主な事業内容 販売促進のコンサルティング・
トータルプロデュース

- (9) 非連結子会社 上海科得聖傲真技術有限公司（議決権比率 99.95%）
株式会社マイクログローブ（議決権比率 99.95%）
株式会社ポパルプロダクツ（議決権比率 87.64%）
- (10) 関連会社 株式会社イメージ・マジック（議決権比率 47.05%）
株式会社ランスロットグラフィックデザイン（議決権比率 33.33%）

個人情報保護への取り組み（プライバシーマーク取得）

東京リスマチックでは、個人情報の重要性を自覚し、プライバシーマークを2004年7月に取得しております。当社で業務に従事する全ての者が、大切な個人情報の保護に努めております。個人情報保護がビジネスを左右する重要課題であるからこそ、いち早く取り組んでまいりました。情報サービス企業が個人情報保護の思想を理解することは、今日の情報サービスにとって必須の要件と言えます。これからも私たちは個人情報を扱う企業人として、細心の注意を怠らず、お客様が安心できるクリエイティブサービスを推進し、個人情報を扱っているという認識と責任を果たしてまいります。



東京リスマチックが考える

環境への取り組み

● 取り組み

—— チャレンジ25 キャンペーン参加 ——

未来が変わる。
日本が変える。

チャレンジ
25

当社サービスツールにおけるエコプリントへの取り組みを始め、社内でのエアコンの設定温度調節や、エコキャップ回収運動への参画、工場・事業所での水や電気の抑制、エコドライブ推進など、東京リスマチックは、社員一人ひとりから始められる身近な環境に良いことを実践しております。



エコ資材の活用促進



エコ紙管



エコ紙袋



名刺ケース

● エコロジー印刷への対応

—— 生産体制 ——

① FSC COC 認証

全ての森林を対象とし、環境保全の観点から適切で、社会的な利益になり、経済的にも持続可能な森林管理を推進することを目的としています。

② サンキューグリーンスタイルマーク

国産材を利用してつくられた製品に付けられる環境貢献の証しのマーク。また、木づかい運動を応援している企業や団体のパンフレットや名刺などにも貼付されています。(特定非営利活動法人活木活木(いきいき)森ネットワークより抜粋)



③ GPN印刷サービス

GPN-GL14の発注ガイドラインに基づき組織的にグリーン購入に取り組んでいる企業・行政機関が、内外へのアピールに使用するものです。



印刷方式

① 水なし印刷(バタフライ)

水なし印刷とは、有害物質の使用や排出を従来より圧倒的に押さえて環境にやさしく、また印刷の品質や生産性の向上も実現可能な印刷方式です。



② ノンアルコール印刷・ノンIPA印刷

オフセット印刷では湿し水の表面張力の調整剤として古くからアルコールやIPA(イソプロピルアルコール)が使用されてきました。

平成13年10月に施行された東京都の環境確保条例で、IPAは「適正管理化学物質」として使用説明の報告が義務づけられました。

また、日本印刷産業連合会やグリーン購入ネットワーク(GPN)では、オフセット印刷におけるグリーン基準を設定し、IPA5%以下の使用を自主規制するようになりました。

そこで、アルコールやIPA(イソプロピルアルコール)や代替品を一切使用しない取り組みが行われたのがノンアルコール印刷です。

使用インキ

※1：VOC = 揮発性有機化合物
(Volatile Organic Compounds)

① UV印刷(NonVOCインキ)

UV(紫外線硬化型)インキは、紫外線(UV)の照射でインキが硬化・乾燥して、強固な皮膜を作ります。このインキは無溶剤のため、VOC※1成分が大気中に排出されて、環境を汚すことはありません。

大気環境保全に優れた環境調和型インキです。

② Non-VOCインキ(油性インキ)(VOCフリーインキ)

インキ構成成分中の有機溶剤を植物油等に置き換えたインキです。

植物油には、大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油等があります。

大豆油インキよりもさらに進んだ環境対応型インキです。



③ 植物性100%インキ

石油系溶剤を添加せずに大豆油を主成分とする植物油100%インキに置き換える技術です。溶剤成分の置き換えによるVOC※1成分の削減は地球資源の保護と環境保全につながっています。



サインディスプレイ

① UV硬化型インクジェットプリンタの導入

UV硬化型インクを使用し、印字直後UVランプを照射してインクを硬化させ、メディアに定着させます。また、溶剤を使用しないため環境に優しく、基本的に材料を選ばないので、どんな素材にも直接印字・定着することが可能です。よって、粘着剤がついたメディアに印字したものを貼っていた従来方式に対し、作業効率を大幅に向上させることが可能となりました。



② ラテックスインクプリンタの導入

VOC(揮発性有機化合物)の排出が極めて低いラテックスインクを使用したプリンタです。有害物質の排出が抑えられるだけでなく、インクの臭気が低いため出力物の掲示場所を選びません。

また、耐候性の高いインクを使用しているため、キズや汚れに強く、屋内外を問わず長期使用が可能です。



HP DesignJet L65500

TOPICS

様々なお役立ちツール 防災対策グッズ

東京リスマチックグループでは、いつ起こるか判らない震災・災害に対して、今後も継続して様々なお役立ちツールをご提案・ご紹介してまいります。

① 各種防災対策ツールへの名入れ

UV ダイレクト印刷は厚さ 5cm 以内であればあらゆる素材に印刷が可能。お好みのノベルティにロゴや文章をフルカラーで印刷することができます。たとえば、非常用の懐中電灯に災害時の緊急連絡先や近隣の避難場所を印刷することで、緊急時に慌てずに対応するための防災グッズのできあがりです。



MIMAKI UVインクジェットプリンター UJF-605CII

② ガラス飛散防止フィルム

窓ガラスに貼る事でガラスが割れて破片が飛散することを防止するフィルムです。印刷せずに透明なフィルムのままガラスに貼っても効果はありますが、当社の UV インクジェット印刷でホワイトインク+フルカラー印刷することで、安全性の確保と店舗の宣伝を兼ねたウィンドウグラフィックが出来上がります。



③ 蓄光印刷

蓄光インキは、太陽光や照明機器の光を蓄え、暗闇で自ら光るインキです。節電に伴う計画停電や、災害時の突然の停電に備え、非常出口等への誘導板や防災ツール等の場所を明示するポスターを作成すれば、暗い場所で発光し、威力を発揮します。シルクスクリーン印刷による印刷で、紙やアクリル板等に印刷が可能です。



④ ARハザードスコープ(スマートフォン用アプリ)

AR (Augmented Reality=拡張現実) は、現実世界に様々な手法でデジタル情報を融合する技術です。例えば、スマートフォンの GPS 機能・カメラ機能を使い現実に見える風景にデジタル情報をオーバーレイ (重ねて表示) する等の技術が開発されています。

津波や大雨による洪水など、今いる場所がどれくらいまで浸水するのか…、災害発生時の避難所はどちらの方向にあるのか…等の情報を、今見ている風景にスマートフォンの画面を通して重ねて表示することで仮想的に体験し、防災活動に役立てることができるスマートフォン向けのアプリ開発をしています。



目の前の空間を劇的に変える新しいコミュニケーションツール

ARアプリ mkdy (マキダイ)

「Marker use dynamic media player = mkdy」は、クロスメディア・コミュニケーションをコンセプトにしたスマートフォンARアプリ導入サービスです。

チラシやパンフレットなどの印刷物に配置した「ターゲットイメージ」にスマートフォンをかざすだけで、動画や3Dなどのさまざまなコンテンツが表示されます。印刷メディアと Web メディアを結ぶことで、よりわかりやすいインパクトのある表現が可能です。

1 商品やサービスの良さや特徴を伝えたい… 映像で商品をストーリー化!



商品がで上がる工程をストーリー化し、商品をより認知してもらうことができます。



例: 商品パッケージ

2 もっと多くの方にファンになってもらいたい… 人気キャラクターを3D化!



人気のキャラクターを3Dアニメーション化して、さらなるファン層拡大を目指すことができます。



例: トレーディングカード

mkdy 導入のメリット



ハイクオリティ

画像・映像、CG等を使用した、多彩なエフェクト展開ができます!



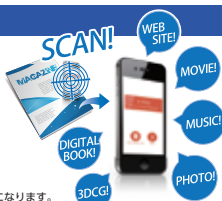
スピーディー

準備はカンタン。マーカとコンテンツがあれば、スピーディーに運用開始ができます。



クロスメディア

紙媒体とWEBサイトの連携が、スマートにスムーズになります。



さらに広がる表現力!

立体造形出力サービス 樹脂出力サービスにカラー樹脂登場!

東京リスマチックグループでは立体造形出力サービスを展開しております。
いずれも従来の印刷とは一線を画す新しいサービスです。
最先端の技術を利用した各種新出力サービスを、ぜひ一度ご利用ください。

① 立体造形出力サービス

13種類の素材を選べる高精細な「樹脂出力サービス」とフルカラーの「石膏出力サービス」の2種をご用意しております。用途やご要望に併せて最新の3Dプリント環境をお選びいただけます。

「樹脂出力サービス」…ゴムライクの軟質素材や医療向けの高透明素材PPライク、ABSライクなど、多種多様な13種類の素材を高精細に立体プリントいたします。

「石膏出力サービス」…塗装をしなくてもCGデータそのままの色・形で出力されるため、試作や単品制作にも威力を発揮します。



② 瞬撮ご来社スキャンサービス

従来3D化が難しかった、動きの中の「一瞬」を立体化するサービスです。複雑なポーズもスキャンOK!! 動きの一瞬を色情報も含めてスキャンする次世代の3Dスキャンサービスです。3Dデータがなくても簡単にご本人をフィギュア化できます!



③ 樹脂出力サービス マルチカラー樹脂46色登場!

最新鋭の立体出力機、カラー樹脂の3Dプリンター「CONNEX3」によるマルチカラー樹脂46色出力サービス。

従来のアクリル系樹脂に、イエロー・マゼンタ・シアンの3色が追加され、この3色を混合した着色済み樹脂の出力が可能となりました。これにより従来樹脂出力では難しかった多色表現を実現!

塗装ではなく樹脂本来の色による再現のため、より製品に近いシミュレーションが可能です。



付加価値印刷

付加価値印刷で実現する「訴求力アップ!」

新年度の販促グッズにプラスアルファのご提案

東京リスマチックグループでは、春先のご挨拶まわりや営業活動等で必要なビジネスツール作りのお手伝いはもちろん、いつもの印刷アイテムに+α<プラスアルファ>するだけで訴求力アップ間違いなしの「付加価値印刷」をご提案しております。豊富なラインナップの付加価値印刷で、広がる印刷表現の可能性と効果を、ぜひお確かめください。



いつもの印刷に **+α** で訴求力アップ!

スクリーンUV印刷

光沢感もしくはマット感をより強調する目的で活用される印刷です。



箔押し・エンボス・デボス

(浮き出し) (凹押し)

強調したい部分に高級感を与えたり、効果的に目立たせる加工です。



カプセル香料印刷

印刷部分を指先で軽くこすると、香料オイルが広がり芳香します。



示温印刷

示温インキ塗布部分が、設定された温度によって色が変化します。



スクラッチ印刷

銀色部分をコインや爪で軽くこすると、隠された下地の絵柄が現れます。



発泡印刷

表面がフワフワと盛り上がり、柔らかな風合いに仕上がります。



液晶カプセル印刷

温度によって色が変わるインキで、簡易温度計などに活用されます。



フロッキー印刷

まるで繊維のような起毛の手触りを表現できる印刷です。



パール印刷

偏光パールのような質感が表現できる印刷です。



水転写印刷

水に浸して絵柄を直接転写させる印刷手法です。



蓄光印刷

日光や蛍光灯の紫外線を吸収し、暗がりでも発光します。



水透かし印刷

水に濡れるとインキ部分が透明になり、隠された下地の絵柄が現れます。



ブラックライト印刷

ブラックライト蛍光灯を当てると、絵柄が浮かび上がる印刷です。



再帰反射印刷

ライトの光を反射する効果のある印刷表現です。



フォトクロミック印刷

(感紫外線印刷)

日光などの紫外線に反応して色が浮かび上がる印刷です。



ノベルティ専科

「イベント会場」「入社・異動や新店舗開店」「販促ノベルティ」など、さまざまなビジネスシーンでご利用いただける効果的なノベルティを、高品質かつスピーディにご用意いたします。ぜひご利用ください。



例えばこんな・・・

ポロシャツ

初夏に向けたクールビズ対策として、カジュアルデー用として、名入れポロシャツが人気です。



エプロン

新店舗オープンや新入スタッフのためのエプロンもご用意いたします。



全面総柄プリントTシャツ

オリジナルイラストや写真などの絵柄をTシャツ全面にプリント！1枚から作れます。



イベントキャップ

メッシュタイプからコットンタイプまで、様々な素材のキャップをご用意いたします。



iPhone5用ケース

3Dデコレーション「曲面印刷」で、上下左右の側面にオリジナルプリントが可能です。



名入れボールペン

ノベルティの定番名入れボールペン。様々なシーンでコストを抑えたノベルティとして最適です。



プリント方法 メディア・用途に応じて、早く美しい仕上がりのために

インクジェットプリント



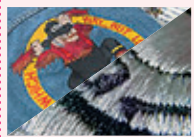
シルクスクリーンプリント



フルカラー転写プリント



刺繍



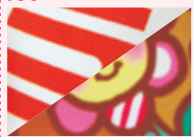
ラインストーン



カットイング転写



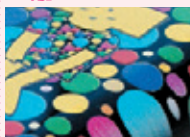
昇華プリント



3Dデコレーション曲面印刷



UV硬化インクジェットプリント





株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 http://www.lithmatic.co.jp ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）

お問い合わせ先
郵便物送付先